

京都第一赤十字病院で過敏性腸症候群あるいは機能性ディスペプシアで通院歴のある
患者様・ご家族様の皆様へ

機能性消化管障害(過敏性腸症候群あるいは機能性ディスペプシア)の薬物療法に関する調査へのご協力のお願い

今回、京都第一赤十字病院は、機能性消化管障害(過敏性腸症候群/機能性ディスペプシア)診療の薬物療法に関する後方視的観察研究を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で過敏性腸症候群あるいは機能性ディスペプシアの治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

機能性消化管障害は国際診断基準に基づく世界疫学調査では、全人口の40.7%にも有病率は及び、ストレスの多い現代社会では今後も増加傾向を示すことが容易に想定されます。しかしながらその病態は未だ明らかでないのが現状です。本研究では当院における機能性消化管障害診療治療の効果を検証すること、また問題点があればそれを明らかにすることを目的としています。また改善すべき問題点があれば、今後の治療法に役立つことが期待されます。

研究の方法

対象となる方について

機能性消化管障害と診断され、2020年1月1日から2024年3月31日までに京都第一赤十字病院において診療を受けた患者様が対象となります。

研究期間:倫理審査委員会承認後から2026年3月31日

方法

本研究は、過去に当院において機能性消化管障害の診療を受けた患者様の診療記録から病歴、検査結果、治療経過、有害事象などを抽出し、後ろ向きに検討する観察研究です。

下記のような項目を検討します。

- ① 患者基本情報:性別、年齢、併存疾患、内服歴、血液検査所見、画像所見、他科受診歴など。
- ② 有効性の評価としては出雲スケール、Fスケールなど症状スコアスケールを用いる。

研究に用いる試料・情報について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される

場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2026年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。研究に参加しない場合でも不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記の本研究実施担当者までご連絡をお願いします。

本研究は、当院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

研究組織

本研究責任者

京都第一赤十字病院

第一消化器内科医長 福居顕文

お問い合わせ先

京都第一赤十字病院

第一消化器内科医長 福居顕文 第二消化器内科部長 奥山祐右

電話:075-561-1121(代表)